

2024 年 8 月 1 日

BMW の電気自動車に V2L & V2H 機能を搭載

車両に蓄えた電気を電気機器に利用できる V2L (Vehicle to Load) 機能

車両に蓄えた電気を家庭用電源に利用できる V2H (Vehicle to Home) 機能

対象モデル: 電気自動車の BMW iX1, BMW iX2, BMW i5, BMW i5 ツーリング, BMW i7, BMW iX

ビー・エム・ダブリュー株式会社（代表取締役社長: 長谷川正敏）は、電気自動車の BMW iX1（アイエックスワン）、BMW iX2（アイエックスツー）、BMW i5（アイファイブ）、BMW i5 ツーリング、BMW i7（アイセブン）、BMW iX（アイエックス）に、車両に蓄えた電気を電気機器に利用できる V2L (Vehicle to Load/ビークル・トゥ・ロード) 機能および車両に蓄えた電気を家庭用電源に利用できる V2H (Vehicle to Home/ビークル・トゥ・ホーム) 機能を、搭載する。(MINI については、MINI COOPER E、MINI COOPER SE、MINI ACEMAN E、MINI ACEMAN SE、MINI COUNTRYMAN E、MINI COUNTRYMAN SE ALL4 に、V2L & V2H 機能が、発売当初から備わっている。)

電気自動車は、搭載されるリチウム・イオン・バッテリーに電気を蓄え、蓄えられた電気でモーターを駆動する車両である。リチウム・イオン・バッテリーには大容量の電気を蓄えることが可能であり、蓄えられた電気を、電気機器や家庭用電源に利用することで、電気自動車は、より利便性が向上することになる。日本で広く普及しており、BMW および MINI の電気自動車にも搭載されている急速充電の規格となる CHAdeMo（チャデモ）に専用の機器を接続することで、BMW および MINI の電気自動車に蓄えた電気を、V2L 機能により電気機器に利用し、V2H 機能*により家庭用電源に利用することが可能となる。

*: V2H 機能による家庭の電源ネットワークへの給電、および、V2L による電気機器の利用は、災害等による停電時に限られます。詳しくは、BMW 正規ディーラー、または、MINI 正規ディーラーまで、お問い合わせください。

*: 下記対象 BMW モデルは本年 7 月生産分以降 V2H 機能が搭載されています。なお、それ以前のモデルについては、ソフトウェアのアップデートが必要になる場合がありますので、詳しくは BMW 正規ディーラーまで、お問い合わせください。

対象モデル

- BMW iX1 eDrive20
- BMW iX1 xDrive30
- BMW iX2 xDrive30
- BMW i5 eDrive40
- BMW i5 M60 xDrive
- BMW i5 eDrive40 Touring
- BMW i5 M60 xDrive Touring
- BMW i7 eDrive50
- BMW i7 xDrive60
- BMW i7 M70 xDrive
- BMW iX xDrive40

- BMW iX xDrive50
- BMW iX M60

BMW グループの電気自動車について

BMW グループは、2012 年に発表の BMW i3（アイスリー）より電気自動車を本格的に導入し、現在では、19 モデルの電気自動車を BMW 正規ディーラーおよび MINI 正規ディーラーを通じて販売している。電気自動車においても、内燃機関モデルと同等かそれ以上の動力性能を備えており、BMW モデルは「駆けぬける歓び」を、MINI モデルは「ゴーカート・フィーリング」を、提供している。BMW ブランドにおいては 2030 年までに世界での販売台数の半分以上を電気自動車とすることを、MINI ブランドにおいては 2030 年代前半までにすべてのラインアップを電気自動車とすることを、目標としている。

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>

MINI カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-3298-14

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

MINI ウェブサイト: <http://www.mini.jp>